

真田

真田で楽しく！元気に！暮らしたい人のためのフリーペーパー

いきいき♪

生き生き ふるさと通信

第42号 2014年12月 1日発行【真田地域に全戸配布】



10月18日 ラ・フェスタ ミツレ・ミリア 2014
が行われ、タレントの堺正章さんらが真田の街を走りました。



カフェ&ギャラリーSa anでは、きみの「！」を守ろう
と題して作品展がありました。

時報から見た近代史

第3回 傍陽村編No.1 明るいニュース

若林 幸正

1. 小県蚕業高等学校（傍陽分校）開校

*（時報）昭和23年6月発行（第32号）抜粋

農村青年の熱烈なる好学心と父兄の協力によって昭和23年5月24日開校される。

分校には、長・本原・傍陽の三か村の組合立として発足。本部は傍陽青年学校におき、長・本原村に分室をおき、各小学校校舎の一部を借用し授業を開始した。生徒数130人、授業は夜学と云う事にて、午後5時より7時30分迄。先生は加藤遼一先生が主任、外に5人の先生と本校より担当の先生が授業する方式。傍陽分校は、5年制で、2年間で各分室（分校）で3年間を本校に行く制度。

◎ 傍陽分校の新設を訴える ※25年15号抜粋

分室が3か所あるにある教育方式はいかんと云う事と、3村経営の不合理から統合分校新設を訴える。

・訴えの結果、昭和26年本原分室、昭和27年長分室を廃止し傍陽分室に統合

●コラム

以後の校歴

- ・昭和28年、柳沢傍陽校長の英断のもと、傍陽村村有林を処分し校舎建築。
- ・昭和33年真田町合併により、真田町管理。
- ・昭和37年校名変更。上田東高等学校傍陽分校
- ・昭和40年上田東高等学校の統合傍陽分校閉鎖

※分校を卒業されて地域社会に貢献された各位に記者として敬意を表します。

2. 吾が村に、産業開発の朗報！ 上田～松代線 改修期成同盟の発足！！

*昭和25年発行 第54号 抜粋

県道上田松代線は、上田、神科、豊殿、本原、長、傍陽を経て、埴科郡豊栄村1市1町8ヶ村に通ずる道路にして、本原村豊栄村内の未改修延長約八千平米位にバスの運転可能となり改修の暁には、上田・傍陽・松代・長野等の物資の交流に資するところ大きく、生産通路として産業開発の上、又観光道路として地方文化の発展に益する所極めて大きいものがある。（傍陽村役場発信）

◎県道上田～松代線

●コラム

以上のように傍陽村時報で報道され、傍陽地方の発展に期する事業として、大歓迎された様子が見える。

その後、県の債権整備適用計画で一時中止となり、昭和34年の（公民館報さなだ）で「地藏峠道急速に実現へたい動」と報道されたがその後も、紆余曲折があり実際に自動車道として開通したのが昭和44年である。

3. 村を挙げて、成人式盛大に執行される。

*昭和27年発行 第46号 抜粋

新制成人式が、1月15日から降りしきる白雪について純白なる青年男女80名参加して、華々しく行われた。この日は公民館は、5色のテープ、万国旗に飾られ紅白の幕を囲らして祝成人の大額装も厳かに成人を迎えた。

村長より成人に人生の3大祝日の一つとして熱意を表して成人の奮起を呼び掛け続いて、成人の胸に「青年と太陽と共にあれ」と意を配し赤い太陽の中に傍陽村と浮した記念バッチを贈った。

これに答えて成人式代表半田忠信君、中村ひさみさんから感想をのべた答辞とされた。

（原文のまま）



成人バッジ（原図）

傍陽の地形群峰と
雪を頂く高峰

●コラム 記者より

新制なる当時の成人式。さぞかし清潔で華やかと思います。関係者は、83歳前後と思います。益々のご健勝をお祈り申し上げます。

認知症サポーター養成講座

真田地域包括支援センターでは、アザレアンさなだ・真田地域自治センターの高齢者支援係と協力して認知症サポーター養成講座を小・中学校で開催しています。

今回は、10月17日の本原小学校三年生の講座の様子を紹介します。

「大好きなおばあちゃん」のDVDやゲームを取り入れて認知症について説明する中で、生徒さんからは「認知症ってどうしてなるの？」などの質問も出て、認知症について理解してもらえたのではないのでしょうか。



真田地区住民会議

10月25日に、平成26年度真田地区社会福祉協議会「住民会議」を真田公民館で開催しました。毎年、真田地区の福祉などの課題を調査・解決するための「住民会議」を開催し、福祉のまちづくりを進めています。各自治会役員、地域協議会、民生児童委員、福祉委員、ボランティア連絡協議会の皆様110名ご参加をいただき、真剣に討論致しました。

第二部では、長野県危機管理防災課玉野井防災指導員のご指導の下、「災害クロスロード（災害時に直面した時の対応のゲーム方式）」を包括職員も参加して行い、直面する様々な問題について判断する難しさを実感しました。

災害クロスロードの一例

あなたは母親です。

大地震後、小学校に行っている我が子を迎えに行くが、途中で人が生き埋めになっているのを発見。

他に人はいない。しかし我が子も気になる。

まず目の前の人を助ける？

YES 助ける / NO 我が子優先

YES の理由、根拠、考え方 / NO の理由、根拠、考え方





我が家のペット自慢



ワンちゃん3匹、ネコちゃん1匹が仲良く暮らしている大家族のご家庭を訪問しました。

(下横道 西牧公一様ご一家)



“そら君”は3歳のシュナウザー 臆病だけどとっても優しいワンちゃん。
トリマーさんがおうちまでお迎えに来て美容院へお出掛けします。



らんちゃん

“らんちゃん”は1歳のシュナウザーと
ミニチュアダックスフント+プードルのミックスのワンちゃん。
そら君の娘さんです。そら君とは違い、おうちの人がかットしています。
(父娘で毛質が違うので、おうちでのカットが出来るそうです)

そら君

運動神経と頭の良さはお父さんより上。やんちゃの盛りでなんでも壊してしまうそうです。
父娘はとても仲良しで、よくじゃれて遊んでいます。



“ポッケ君”は14歳(推定)のミックスのワンちゃん。
以前の飼い主は、一人暮らしの方でした。病気になり入院されたのを機に
7年前西牧様宅に来ました。
白内障を患い、1日の大半を寝て過ごしています。



ポッケ君



ぴーちゃん

“ぴーちゃん”は3歳のミックスのネコちゃん。3年前千古の滝付近で
目が開いていない生まれたての3匹の兄弟猫と一緒に捨てられていたのを
西牧様家の次男さんと次男さんの彼女(当時)が拾いました。3匹の兄弟猫は
それぞれ西牧家と彼女の家と丸子の酒屋さんのおうちの子になりました。
ネコちゃんのとりもつ縁なのか、次男さん達はめでたく来春結婚するそうです。

徐々に増えたワンちゃんとネコちゃん、最初は緊張や警戒をされていましたが、1カ月程で仲良くなられたそうです。

そら君とらんちゃんは朝と夕方の2回お散歩に出掛けます。父娘がお散歩に出掛ける様子を見て、
ぴーちゃんが後をついて出掛けます。今回は夕方のお散歩に同行させて頂きました。



いつもと違う私達がいる事で
ぴーちゃんはどこか警戒して
いる様でした。
何度も後ろを振り返り・・・
そわそわ



後日、ご家族に撮影して
頂きました。
3匹ともとても仲良く
お散歩しています。

たくさんのワンちゃん・ネコちゃんに囲まれた賑やかなお宅でした。

(半田・櫻井ひ)



リレー訪問

真田町の社長さん 第15回

リーフケア株式会社 社長 諏訪部 良智 さん

前回のカントリーハウス21石井さんからのバトンを受けて、今回は「リーフケア」株式会社社長 諏訪部良智さんの紹介です。リーフケアは介護保険サービス「福祉用具レンタルと販売」の介護ベッド、車いす、その他の用具レンタルや、介護関連の各種オムツやポータブルトイレ販売、杖から住宅改修に至るまで、幅広く対応してくださる真田町では唯一の会社です。営業所は国道144号線、本原信号機に隣接し（介護支援センターえん看板目印）、2006年から営業開始しました。若干28才で起業した上小地域の業界では小さくてもホープ的存在です。インタビューはQ&Aで伺いました。



Q1；福祉用具の会社を立ち上げた切っ掛けや理由は何ですか？

A；福祉用具業界の会社に就職して顧客訪問や営業を行う中で興味が湧いてきて、自分でやってみようかなと思いました。ただ、どういう段取りでどんなふうにしたら出来るのか分かりませんでした。今思えば、いろいろな人との出会いや繋がりがあって、“いろいろな偶然が重なって”出来ました。例えば、侍学園（さむらいがくえん）創立者の長岡

秀貴さんとの高校時代からの出会いと、その交流から刺激を受けたことや、起業した友人達からの情報を得たことや、勤めていた会社でのお客さんたちから応援して頂いたことや、やはり家族の理解や協力があつたからですね。

Q2；会社を起業するに当たって不安は無かったですか？

A；無かった訳ではありませんが、「やればできるんじゃないか」「俺に任せてもらえば結果的に満足が得られますよ」という自負みたいなものがありましたし、いつでもどこでもお客様に満足してもらいたい一心でやってきたので、それほど不安はありませんでした。しかし、お客さんを得るためだけを目的で接している訳では絶対ありません。それに、昔から仲間からは“どんぶり勘定野郎”と言われていましたので何とかなりました。

Q3；諏訪部さんのモットーとか座右の銘は何ですか？

A；“為せば成る”です。高校時代から好きな言葉です。「ちゃんとやれば何とかなる」と思います。それから“人との繋がり”、つまり仲間とか地域とかの横の繋がりを大切にすることです。

Q4；社名のリーフケアの由来は何ですか？

A；「リーフ」は長女の名前「葉月」から、ひらめきで付けました。長女は3月生まれですが、自分の誕生日が八月なので「葉月」と命名しましたが（笑い）、「葉っぱ＝リーフ」という言葉の響きが良いので、会社名に決めました。「ケア」は介護という意味で付けました。因みに、次女は「葉奈（はな）」、三女は「琴葉（ことば）」、長男は「葉琉（はる）」です！

Q5；趣味は何ですか？

A；とにかく身体を動かすこと、野球以外なら何でも好きです。高校時代から今もちゃんと続けているサッカーを初め、スキー・スノーボード、水泳（長女と一緒にスイミング）、オンロード自転車、など。殊にサッカーは真田中学校サッカー一部活動の外部指導員を5～6年勤めさせて頂きました。現在は、上田川西地区のジュニアユースサッカークラブ（部活に属さない中学生対象）“リガーレ”の監督を務めさせて頂いています。月水金曜日、19時から、上田西サッカーグラウンドです。



Q6 ; 今後の目標は？

A ; 業務を充実したいです。営業範囲を広げるのではなく、内容を濃くしたい。お客様やケアマネさんからのニーズに、よりマッチする為に可能な範囲でスタッフを増やしたい。

この他にも、「制度資金」借入方法、在庫管理・新製品チェックノウハウ、レンタル卸し会社との連携、趣味のエピソードなど紙面都合で掲載出来ない話題満載！さあ、お店に行ってみよう！（池田・栗林）



第13回 真田三代の活躍

常田 軍三

四、村上義清上田へ進出

⑧上田原合戦（その二）

さて、天文17年（西暦1548）2月、上田盆地を冬の烈風が吹き荒び、寒さが一段と厳しさを増すころ、甲斐の武田氏と坂城の村上氏の関係も抜き差しならぬものになってきました。にわか

に戦雲が上田盆地の上空に垂れ込めたのでした。
武田信玄は八千の軍勢を引き連れ、村上氏を攻略するために甲府を出発し、砂原峠すなはらとうげから上田原くらますやまに出、倉升山に布陣しました。上田原は上田市街地からは西方4、5キロの千曲川の対岸で、平坦な地域です。片や村上義清は七千を率い岩鼻口で千曲川を渡河、左岸の天白山てんぱくさんろく麗に本陣を置きました。彼我の勢力は拮抗していましたが、武田勢は甲州からの遠来の軍団、対する村上勢は地元の手勢、対決当初から戦う意欲は村上方が優勢でした。

両者の戦闘は熾烈しれつを極めました。混戦の結果「板垣信方（武田軍武将）が討死し、勢いに乗じた村上勢は、武田の本陣に襲いかかり、これを破りました。このため大将晴信は負傷、甘利虎泰・才間河内・初鹿野伝右衛門等の諸将も戦死しました。もし、小山田信有の働きがなければ、武田方は全滅の憂き目を見るほどの大敗北でした。『一国ノ歎（なげ）キ無限』と『妙法寺記』で、甲斐の人々の受けた衝撃が伝えられている。」（『上田小県誌』）

上記の誌史は「大敗北」としてはいますが、「されど御大將は、本陣にしばを踏みめされ候」と、本陣の地を退かなかったことが、『妙法寺記』に見え、また、村上方も宿將の屋代基綱、雨宮刑部、若槻清尚、小島権兵衛等が戦死したわけですから、一方的に大敗北というにはあたらないでしょう。結局、この戦いは痛み分けのように見えますが、武田方の損害が大きく、武田方の敗戦だったことは間違いありません。

（次号に続く）

発行元：「真田 生き生きふるさと通信」広報委員会 事務局：高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ内
〒386-2201 上田市真田町長 7141-1 有線 2111
TEL 0268-72-2781 FAX 0268-61-4010 E-mail keijinfukushi@azarean.jp
ホームページ <http://www.azarean.jp>

イベント情報や、通信を読まれてのご意見、ご感想をお寄せください。次号は2015年2月1日の発行です。